

## 第 16 回地域がん登録全国協議会総会研究会 会ならびに実務者研修会のご案内

児玉 和紀

放射線影響研究所

第 16 回総会研究会を 2007 年 9 月 7 日（金）（実務者研修会は 9 月 6 日）、広島市南区民文化センター 2 階ホールで開催いたします。今年は広島市医師会腫瘍統計事業が開始されて 50 周年の節目の年です。「保健・医療と疫学研究における地域がん登録の役割」をテーマとして、50 年の歴史を振り返りつつ地域がん登録の新たな展開を考える大会にしたいと思います。前号でもご案内しましたが、前回の山形に引き続き、市民公開講座を開催いたします。また実務者研修会は、模擬症例を提示して実際に標準登録票を記入していただき、解説を加えていく形式で行います。さらに、広島県地域がん登録システムおよびセキュリティの見学会を 9 月 8 日（土）に行います。

さて、すでに第 1 報、第 2 報のご案内でお願いしているところですが、今回はじめての試みとして、地域がん登録事業を実施している全道府県市に、ポスターで登録室をご紹介いただきたいと思います。この登録室紹介ポスターは、地域がん登録関係者の交流を第一の目的といたしますので、ご参加の道府県市からは必ずご発表をお願いいたします。あわせて、昨年までと同様に学術的ポスターも公募いたします。なお、今回は懇親会（会場：広島医師会館）を実務者研修会（9 月 6 日）後に行いますので、ポスター賞の表彰は総会研究会（9 月 7 日）の閉会前に行います。多数の皆様のご参加と会場での活発なご議論をお願い申し上げます。

### 9 月 7 日（金） 総会研究会

参加費：3,000 円

9:00 受付開始

9:00-10:00 ポスター掲示

10:00-10:20 会長挨拶、来賓祝辞

10:20-12:00 シンポジウム「地域がん登録の課題と今後の展望」

座長：祖父江友孝（国立がんセンターがん対策情報センターがん情報・統計部長）

迫井 正深（広島県福祉保健部長）

基調講演「がん対策における地域がん登録」

迫井 正深（広島県福祉保健部長）

1. 地域がん登録の標準化の現状と課題

味木和喜子（国立がんセンターがん対策情報センターがん情報・統計部）

2. 地域がん登録に果たす医師会の役割

有田 健一（広島県医師会）

3. 地域がん登録の法的現状と課題

田中 英夫（大阪府立成人病センター）

4. がん対策推進計画策定における府県がん登録の役割

井岡亜希子（大阪府立成人病センター）

12:00-12:30 総会

12:30-13:20 昼休み

13:20-14:20 ポスター見学 会場：広島市南区民文化センター 3 階ギャラリー

14:20-14:50 会長講演「地域がん登録と放射線の健康影響の研究」

児玉 和紀（放射線影響研究所）

座長：関根 一郎（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 原研病理 教授）

15:00-17:00 市民公開講座「50 周年を迎えた広島のがん登録—広島県の保健・医療における地域がん登録の役割—」

座長：岡本 直幸（地域がん登録全国協議会理事長・神奈川県立がんセンター）

鎌田 七男（広島県地域がん登録運営部会長・原爆被爆者援護事業団）

1. 広島におけるがん登録の取り組みと成果

西 信雄（放射線影響研究所広島研究所 疫学部）

2. 広島市医師会とがん登録—その 50 年  
桑原 正雄 (広島市医師会)
3. がん登録資料の有効な活用—広島県で発生した  
がんの変遷—  
安井 弥 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科  
分子病理学)
4. がん登録における個人情報保護への配慮  
片山 博昭 (放射線影響研究所情報技術部)
- 指定発言  
山内 雅弥 (中国新聞社編集委員)

17:00—17:15 ポスター表彰・閉会の挨拶  
17:15—17:30 ポスター撤去

### 9月6日(木) がん登録実務者研修会

参加費：1,000 円

14:00 受付開始

司会：杉山 裕美 (放射線影響研究所  
広島研究所疫学部)

中元 一望 (広島県医師会学術研修課)

- 14:30—15:00 「模擬症例 (1) の検討」  
15:00—15:30 「模擬症例 (2) の検討」  
15:30—15:50 休憩  
15:50—16:20 「模擬症例 (3) の検討」  
16:20—16:50 「模擬症例 (4) の検討」  
16:50—17:20 質疑応答  
18:00—20:00 懇親会

会場：広島医師会館 3 階健康教育室

懇親会費：4,000 円

### 関連企画

広島県地域がん登録システムおよびセキュリティ  
見学会

日時：9月8日(土) 9:00-12:00

場所：放射線影響研究所

会費：無料

第 16 回地域がん登録全国協議会総会研究会  
大会会長：児玉和紀  
事務局：財団法人放射線影響研究所 疫学部 気付  
〒732-0815 広島市南区比治山公園 5 番 2 号  
電話：082-261-3131 (内線 579)  
FAX：082-262-9768  
E-mail：16thjacr@rerf.or.jp

## 第 29 回国際がん登録学会 (29th Annual Meeting of IACR) のご案内

井岡 亜希子

大阪府立成人病センター 調査部

2007 年 9 月 18 日—20 日の 3 日間、スロベニアのリュブリャナ (Ljubljana, Slovenia) にて、第 29 回国際がん登録学会 (29th Annual Meeting of IACR) が開催されます。スロベニアは四国ほどの広さ (約 2 万 km<sup>2</sup>) で、オーストリア、ハンガリー、クロアチア、イタリアと国境を接し、地中海からアルプスにかけて美しい自然の風景のあふれる国です。また、2004 年以降は EU 加盟国でもあります。リュブリャナはスロベニアの首都 (人口約 30 万人) で、国土の中央に位置し、スロベニアの輸送、科学、教育の中心都市であり、ヨーロッパの貿易、ビジネス等の重要都市でもあります。

今回の学会のテーマは、「がん登録における伝統と新技術の岐路：登録での電子情報の使用法」と「がん対策におけるがん登録の役割」です。後者については、①一次予防効果の評価におけるがん登録、②早期発見の評価におけるがん登録、③がん医療および生存率の評価におけるがん登録、④第一がん治療の晩発影響の評価におけるがん登録、の 4 つのセッションが設けられます。わが国では、この学会の開催前後に、国のがん対策推進基本計画および都道府県のがん対策推進計画が策定される予定で、がん対策におけるがん登録が注目されつつあります。したがって、これらのテーマはとて興味深く、ここからきっと多くのヒントが得られることでしょう。

わが国からは多くの研究者が参加を予定し、わが国